

参加者の質問・感想に対する山口氏のコメント

【質問・感想①】

「たくさんの国に行ってプロジェクトをしていたので、現地の人の声、このプロジェクトがあって、どのように、この国が変わったのかというところが気になりました。自己満足になるプロジェクトの具体例を知りたいと思いました」(大学生・女性)

《山口氏のコメント》

事案 1: あるクラブがメンバーの持つ古いボール、シューズ、練習着を集めて途上国に送るプログラムを実施し、ボール(1000個)、シューズ100足、練習着100着を寄付しました。

メリット: 産業開発途上地域の子供たちが通うサッカークラブに用具が届き、練習の質を増やすことが出来た。

課題 1: 数か年にわたって中古品を提供された近隣のスポーツ用品店の商品が売れなくなり倒産。数年後に必要な物資の入手が困難となった。

課題 2: 途上国のスクール生であっても、やはり新品の道具を使うのと中古では大きな違いがある。中古品が当たり前の文化となる危険性が生じる。

課題 3: 配布された翌日のマーケットに、多くのサッカーグッズが流出し、販売されており、実際の子どもの手には届いていないことが判明した。

課題 4: 日本のクラブでの中古ボールの収集時、メンバーの中には思い入れのあるボールを手放すことに躊躇した者も少なくなかった。コーチの提案であったこと、周りが寄付したことなどから、それに流された。

以上のように、単純明快な支援活動であっても、課題は付きまといまいます。そうならないように、現場の状況を把握した信頼できる仲介者と相談して対応することが必要になります。なお、以下のような対策が可能です。なお、Criticalな視点で明示しているので極端と感ぜられる場合は、あまり神経質にならぬように配慮することも必要かと思えます。その際、必ず現地の方と対話をもって行動されることをお勧めします。

対策 1: 日本で中古品を販売し、資金を獲得。その資金を活用して支援地で新本を購入する。その際、割引チケットを発行していただくなど、貧困家庭にメリットのありそうな手段を検討する。

対策 2: 子ども達が、その場で、上手く使いこなせるようにプログラム内で配布するなど、闇マーケットに流出しないように配慮する。

対策 3: コーチの発案ではなく、日本の子供たちに国際理解教育プログラムを提供した上で、メンバーで何が出来るか検討し、コーチがファシリテートする方法論を採る。

【質問・感想②】

「豊かさをどのように限定するかと考えたことが一番勉強になりました。しかもそれが世界でもまだ決められていない……。興味深かったです」(社会人・男性)

《山口氏のコメント》

「豊かさの基準を明確に図る指標はない」というのは、あくまでも私の考える論理的な思考で導き出した答えです。多くの組織や学者、実務家が開発した指標が「豊かさを測る指標」として唱えておられる方もいます。

私は、その指標の在り方を各人が持ち続け、思考し続けることこそが、貧困や平和な世界を築く近道であり、その方法論として「スポーツを通じた開発」が存在すると感じています。

【質問・感想③】

「青年海外協力隊として決して一方通行にならず、現地の人々が持つ悩みを聞き出せるような人間になります。また、自分の夢(〇〇国の子供たちをオリンピックに招待する)を考え直すきっかけになりました。本当に〇〇国のことになっているのか、現地の人々は本当にしたいのか。相手のことを理解して活動していきます」(社会人・男性)

≪山口氏のコメント≫

個人が悩みや課題の根源を見つけるのは、非常に難しく、それを他者に表現するためには、発言者の表現力が不可欠です。また、他者との関係性によって、上手く具体化できない場合も多く、他者の聞き取り力も求められることになります。一步一步、国際協力に必要な能力を高めて行って下さい。

【質問・感想④】

「現地での実体験など、国々で特色があることが知れてよかったです。スポーツの力がすごく、僕も将来世界に行きたいので、参考にします」(高校生・男性)

≪山口氏のコメント≫

講座でもお伝えしましたが、スポーツの多面的な力は、その使用方法に応じて、良くも悪くも影響を与えます。「火」に近いかもしれません。人類は、「火」を得たことで、様々な事象を可能としましたが、使い方を誤ると人を殺め、悪い影響を及ぼすことも少なくありません。スポーツの力を上手く生かすためには、各スポーツの持つ特徴を知り、活用することが重要になりますね。

【質問・感想⑤】

「合気道をやっています。スポーツを通じて平和を実現するという話にとっても興味が出てきました。今まではオリンピックをやるお金があるなら、もっと世界の貧しい国のために使えばいいのにと考えていましたが、むしろオリンピックを有効に活用することで貧しい国のために行動できるんだなと気が付きました。学びが多い講演でした」(大学生・男性)

≪山口氏のコメント≫

押し付けになってはいけませんが、折角、日本に来訪される来訪者・観戦者に日本の身体文化である合気道の良さを伝える機会に活用いただければと思います。それを知った来訪者のための護身術や自身の気のコントロールに役立ち、豊かな生活を形成する手段になるかも知れませんね。

オリンピックは、世界最大の祭典行事で、他のそれを凌駕します。そこには多くのメリットとデメリットが存在しますので、利益を最大化し、悪影響を最小化する取り組みを、政府や委員会に委ねるのではなく、国民一人一人が考えることが重要だと感じています。是非、一緒に取り組みましょう。

【質問・感想⑥】

「自分は小3から高3までサッカーをずっとしていました。そして、大学では英語を先行していて、今日のスポーツを通じた国際協力というテーマにすごく興味がありました。自分はボールがあれば、サッカーはできると思っていて、だからこそ世界各地でサッカーはやられているんじゃないかと感じています。紛争地域で部族を混ぜてサッカーをやったことにすごく感心して、スポーツの力を感しました」(大学生・男性)

≪山口氏のコメント≫

スポーツには、多くの可能性が秘められていますが、その逆も然りです。サッカーも同様に良い影響も悪い影響も及ぼします。フーリガンやサッカー紛争が代表するように、サッカーの持つスペクタクル性が物事を悪い方向へ導く場合があるため、講座でご紹介したように、サッカーと課題の特性がマッチするか、或は、どのように活用するか熟考することが重要です。

【質問・感想⑦】

「スポーツを通じて、自分に何ができるか、自分自身の責任や任務について、改めて考えるきっかけとなりました」(JOCV・男性)

≪山口氏のコメント≫

色んな体験談をお話ししましたが、責任や任務の軸を固めたら、その信条を軸に、多くを学び、精一杯楽しんでください

ね。

【質問・感想⑧】

「私自身、“選手を強くする、チームを強くする”ということを考えさせられる講義でした。勝利が目的になってはいけな
いとわかっていても、勝利を目指すことで成長があると考えてしまいます。まだまだ試行錯誤しながら頑張ります、筑波大
学へ進学できる生徒を作りたいです」(高校教諭・男性)

《山口氏のコメント》

スポーツの楽しみの一つである「卓越性」は非常に重要な要素なので、それを高めることは推奨されるべきであろうか
と思います。但し、選手やチームが強くなるのが社会にとって、個人にとって、何なのか？勝利を勝ち取ること、或は、勝
敗から何を
得るのかを考えることが重要だ
と思います。私自身も選手時代に競技スポーツに没頭し、体の数箇所を故障
していますし、そこまで努力したのにプロになれていません。勿論、過去の栄光など、遠い昔話ですから、当時、勝ったこ
とが何だったのか？と問い直す
ことがあります。ご自身の行動に自問自答し、時に生徒に語り掛けて、これまでのように
誠実に歩いて行って下さいね。

【質問・感想⑨】

「今日の講演において、“スポーツのとらえ方”が変化したと思います。日本にいる私たちがスポーツと聞いてイメ
ージする
のは、スポーツ競技が主になり
ますが、実はスポーツは紛争の解決や、地域調和にも友好的だということを知り
ました。これからオリンピックを控える中で、日本がほかの国に対してどのような取り組みができるのか考えていくのも重要
だと考えさせられました。山口さんは、JICAをはじめ、NGO、UNなど様々な団体での経験がある分、国際協力を“経済
”という面や“政策”という面からデータやイメージ図を使って説明していただい
て、面白かったです」(大学生・女性)

《山口氏のコメント》

楽しく拝聴いただき心から嬉しく感じています。私はスポーツ愛好家として、常にスポーツとは何か問い続けています。太
古の昔からスポーツが存在し続けているのは、そこに意味があるからだ
と感じています。経済的、空間的、思想的な貧
困地域にもスポーツは存在して
いますし、良くも悪くも影響を及ぼし
続けていますので、折角なら「悪影響を最小化して、
良い影響を最大化できれば良いな」と考えています。世界の未来を担うのは、これから働き始める若き人材、つまり、今
回の講座に出席された皆さん
です。是非、スポーツの価値を創造し、実践してください。そして、何かお力になれそうな
ことがあれば、お声がけください。

以上